

令和 7 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

八幡工業

高等学校

23

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>・地元北九州で活躍できる工業人財を育成する学校 地域社会との連携による実践的なものづくりを通して、社会に貢献する意欲や自己有用感を高め、 知識や技術・技能を身に付けた人財を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工業人として必要な基礎的・基本的な知識・技術の習得 ・ものづくりを通して社会で活かせる思考力・判断力・表現力の育成 ・資格取得や部活動で目標に向かって努力し続ける意識の涵養 ・工業人としてルールを守る精神と、他者を思いやる心の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ等、体験的、実践的なキャリア教育の推進 ・「得意技コース制」による高度技能者の育成 1 実験実習の充実 2 熟練技能者からの実習指導 3 実践的資格の取得 ・きめ細かい指導ができる少人数制授業 ・進学希望者にも対応できる選択制授業
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で貢献できる人財になりたい人 ・ものづくりに強い興味・関心をもつ人 ・チャレンジ精神のある人 ・自他の健康・安全を考えて行動できる人

学校運営計画(4月)

学校運営方針	『鍛ほめ福岡メソッド』を軸に「子ども本位」の指導を推進し、持続可能な社会の創り手として、地元で貢献できる八工生を育成していく。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>昨年度は、ICTを活用した授業改善が推進され、主体的・対話的で深い学びの実践に繋がった。今年度は更なる推進を図り、個を伸ばす教育実践を目指す。</p> <p>また、専門学科の特色が生かされた活動を中心とした広報活動を充実させ、志願者数確保に繋がった。今年度も引き続き、生徒が主体的に活動する場を設け、地域に本校の魅力を発信させる。</p>	主体的に対話的な深い学びを実践	生徒にとって最適なICTを活用した授業改善に取り組む	
	他人が見てないところで努力する生徒を育成	積極的な生徒指導を基本とした取り組みを実施	
	進路実現に向けて努力を続ける生徒を育成	組織的な指導体制を構築しキャリア教育の充実を図る	
	各学科の特色化とものづくり活動や資格取得の推進	科毎に特色あるものづくりや資格取得に取り組む体制を構築	
	学校HPやSNS等を活用し積極的な情報発信と社会貢献活動	地域に根差した教育活動や地域社会との連携、学校行事等の適宜発信	
	教職員の働き方の見直しと良好な職場環境の構築	働きやすい職場環境や不祥事を行さない雰囲気醸成	
	修学支援・教育相談の充実を推進	SC、SSW、訪問相談員等との連携強化と支援体制の充実	

様式3

評価項目		具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	教務課	学習指導の充実	学習指導要領に準拠した学習指導と評価の一体化を図る。	授業アンケート	
		観点別評価の効果的な実施	主体的・対話的で深い学びに向かう授業づくりの改善を図る。		
	庶務課	学校行事の円滑な計画・提示	学校ポータル等を活用し新しい情報を適宜アップロードしていく。		
		記録や文書の共有と活用	記録や文書をデータ等で残し共有することで業務の効率化を図る。		
研修課	研究授業・公開授業の充実	公開授業週間中の研究授業を計画的に企画する。			
	指導力向上のための研修企画	ICT研修や、外部講師による生徒理解のための研修を企画・実施する。			
生徒指導部	生徒指導課	問題行動の未然防止	生徒との信頼関係を築き、全職員の共通理解を深めながら、即時指導の徹底、問題行動の未然防止に努める。	学校生活アンケート	
		規範意識の育成	年に5回以上の講演会の実施により、規範意識の醸成を図り、自他共に尊重する態度を養わせる。		
	保健環境課	校内美化の徹底	平時の清掃及び行事時の清掃意識の向上の呼びかけ。		
		教育相談の活用	カウンセラーを初めとした外部専門家との連携を図る。		
生徒会課	部活動の活性化	部活動紹介・体験を通して入部を促し、部活動加入率の向上を図る。			
	生徒の自主自覚の育成	生徒を主体とした行事等の企画立案を促す。			
進路指導部	進路指導課	1・2年生の進路意識向上	1、2年生に向けたキャリアガイダンスの充実を図る。	進路希望調査(各学年・定期)	
		3年生の進路希望実現	進路希望実現のため、生徒への適切な情報提供を行う。		
	情報図書課	図書館利用・貸出数の向上	生徒一人あたりの年間貸出数3冊を目指す。	学習アンケート 学校生活アンケート	
広報部	広報課	SNSを活用した幅広いPR	SNS等を通して本校の活動を広く知ってもらおう。今年度は動画コンテンツ導入を目指す。	開放講座等参加者からのアンケート	
		地域貢献活動を通じた本校PR	開放講座やボランティア活動、地域の取組に積極的に参加し、本校をPRする。		
学年	1学年	安全・安心なクラス・学年づくり	職員間で生徒の情報を共有し、組織的かつ生徒に寄り添った指導を行う。	学校生活アンケート(独自) 進路希望調査(独自)	
		進路意識・基礎学力の向上	生徒一人一人に目標を明確にさせ、その達成に向けた過程を意識させる。		
	2学年	思いやりを持った学年づくり	規範意識の向上を図ると共に、思いやりを持った行動力を育む。	学校生活アンケート(独自) 進路希望調査(独自)	
		進路実現に向けた日々の意識・責任感の涵養	先を見据えた行動を意識させ、計画的に過ごす習慣を身に付けさせる。		
	3学年	希望進路の実現	進路指導部との連携を密にし、生徒の適性に応じた進路の実現を図る。	進路希望調査(独自) 学校生活アンケート(独自)	
		成人としての自覚の涵養	学年、各クラスで学年集会、面談等を通して成人としての自覚の涵養を図る。		
機械系	機械科	基本的な生活習慣の確立	挨拶や清掃活動等、教員が率先垂範することで生徒への意識づけを図る。	進路希望調査 学校生活アンケート	
		第3学年の希望進路の実現	職員一丸となって個別相談と面接指導に取り組み、希望進路を実現する。		
	電子機械科	キャリア教育の充実	資格取得率の向上のため、効率的かつ効果的な指導体制の確立を行う。	進路希望調査 学校生活アンケート	
		基本的な生活習慣の確立	5S+Sの徹底した指導を展開することで、工業人としての基礎となる規範意識の醸成を図る。		
材料技術科	主体的に言動出来る生徒の育成	八工生としての誇りを持たせ、規範意識を育て行動できる生徒の育成	進路希望調査 学校生活アンケート		
	希望進路の実現と人間性の育成	生徒の希望進路実現と相手を思い遣る感性を養う			
電気系	電気科	生徒が充実した学校生活を送ることが出来る	科の全教職員で生徒の資格取得や進路実現を目指す。	進路希望調査 学校生活アンケート	
		ものづくりの技や楽しさを伝える	ものづくりを通して、工業高校の良さ、電気を学ぶ面白さを伝える。		
土木系	土木科	技能の伝承とICT化	科内研修等を実施し技能の伝承を進め、生徒の分かる授業に取り組む。	進路希望調査 学校生活アンケート	
		希望進路の実現	現場見学や企業研究を充実させ、生徒の職業観を高める。		